

2023

令和5年7月14日

第24号

(通算70号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 母校に嬉しい成果報告!

就職の内定や取得資格等を報告するために、母校（県立勝田工業高等学校）を、5人の学生が訪問し成果を報告してきました。

毎年多数の卒業生が、本校に進学しています。訪問した高橋亮介さんは「久しぶりに母校訪問ができて良かった。特にお世話になって先生方に喜んで頂き嬉しかった」と話していました。



左から 柏千穂子さん、中村羽玖さん、古佐原蒼彩さん、加藤太一さん、高橋亮介さん

- 「株式会社シーアンドエーソリューション」 柏千穂子さん
- 「株式会社ユードム」 中村羽玖さん
- 「日立茨城テクニカルサービス」 古佐原蒼彩さん
- 「日立Astemo株式会社」 加藤太一さん、高橋亮介さん



勝田工高の校章

2 自分の頭で考える!



鬼澤宏幸 社長

7月の「地域経済論」は、干し芋販売を手掛け「いばらき産業大賞」を受賞した『株式会社幸田商店』の鬼澤宏幸社長にご来校頂きました。おしゃれにパックされた「ほしいも」が学生にプレゼントされました。

鬼澤社長から、会社概要と6つの経営上の課題や、自分の頭で考えぬく事の大切さについて説明がありました。質疑応答の後、学生がグループに分かれ約1ヶ月間、調査研究を行い課題解決案を作成していきます。

ITを学び次代を担う学生に期待したいと話す鬼澤社長から「Impossible is nothing」とメッセージを頂きました。



配布された「ほしいも」



説明会の様子



課題を整理する学生

3 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 日本経済新聞(2023年7月9日)
衛星通信 料金手ごろ、新興国で需要

◇要約

●**絹張哲平さん** (麻生高卒)
近年、無線通信サービスとして地球に近い軌道上で多くの小型衛星を一体運用する「衛星コンステレーション」が使われている。新興国や既存の回線が高額な内陸部でも多くの需要が見込まれる。

◇感想

●**飯村寧音さん** (水城高卒)
旧来の方法では、通信の遅延や接続が途切れてしまうことが問題だったが、人工衛星を介して通信を行うことで通信が速く接続も維持される。比較的安価なところも魅力だと思った。日本でも活用が進んでいるので期待したい。

●**ディアナさん** (インドネシア教大卒)
コネクテッドカー、キャッシュレスなどのIoT機器向けがあり料金も手頃であり、衛星通信は新興国で需要があります。

現在、インドネシアでも実例があり、故郷のバンドン市のバス運転の支払いはキャッシュレスで、需要の高さを感じています。

●**佐藤彩乃さん** (勝田工高卒)
人工衛星によってどこでも通信が出来るようになれば、山での遭難であっても、通信圏外という事もなくなる。

行方不明者を発見しやすくなったり、自力で帰還することもできるので、被害を抑えることが出来る。

●**高橋将也さん** (那珂高卒)
私も、実際にディズニーランドなどに行ったとき、人が多すぎてスマホが使えずストレスが溜まるのが度々あった。このようなことが改善できる人工衛星を介した無線通信サービスにはとても期待している。

